

古典的 Case21

Mr. C.、23 才、背が高く、肌の浅黒い、良い体格の男性。

通常は 2 週間に 1 回、時々 3－4 週間に 1 回、不規則な間隔で起こる病的な頭痛を患っていた。

-それは朝に始まる；

-目覚めた時、だるく、たてようもない感じ。それは一日かけてだんだん悪化し、そして彼はベッドに留まらねばならぬくらい悪くなる、半ばボーッとした状態で一日中横たわり、しばしば目覚めるのが困難である。

-嘔吐が起こり、それによって少し、短時間だけ楽になる。

-嘔吐は時々朝一番に起こる。

-非常に大きな苦しみの中にいるように、顔色は青ざめている。

-食欲がなく、もし何も食べないと、痛みはいつそう悪化する。

-彼は同じ問題を抱える母親からこの病気を引き継いでいて、同じレメディーで緩和する。

-XXX が処方された。

-直ちに治癒。